

今川義元

「海道一の弓取り」



「海道一の弓取り」。それは、東海でもっとも力のあったぶしよう、今川義元のよびなです。義元は駿河の国（今の静岡県）をおさめ、歌が大すきな人でもありました。

後に天下人になる徳川家康も、子どものころは義元のもとであずけられ、たくさんのかたとを学びました。

義元には、天下に力をしめすという大きなゆめがありました。そこで一五六〇年、京（今の京都）をめざし、大ぐんをひきいて出発しました。その数はなんと二万五千人ともいわれています。

しかし、桶狭間の戦いで、かみなりと大雨のなか、織田信長のふいうちをうけ、義元はたおれました。この戦いは信長が天下へのぼりつめるきっかけとなりました。

せんたく(1)

義元にかつたのはだれでしょうか？
えらんで○をつけましょう。

- ① 武田信玄
- ② 徳川家康
- ③ 織田信長

せんたく(2)

桶狭間の戦いとき、どんな天気でしたか？
えらんで○をつけましょう。

- ① はれ
- ② かみなりと大雨
- ③ 雪

きじゅつ(1)

駿河の国は今の何けんでしょうか？

きじゅつ(2)

義元が大ぐんでめざしたのはどこでしょうか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) かたな

(2) むら

(3) あさ

--	--	--

こたえ

いまがわよしもと
今川義元

せんたく

(1) ③
(2) ②

きじゅつ

(1) しずおかけん
(2) みやこ

かん字

(1) 刀 かたな
(2) 村 むら
(3) 朝 あさ